



4D & 4D Server キーボードショートカット

本ドキュメントでは、4Dアプリケーション（4th Dimensionおよび4D Client）ならびに関連ソフトウェア（4D Tools、4D Transporter、4D Customizer Plus）で利用できるキーボードショートカットの総合一覧を提供します。

注：Enterキーとは、数値キーパッドのEnterキーを意味します。このキーは標準的なReturnキー（改行キー）とは異なる結果をもたらす可能性があります。

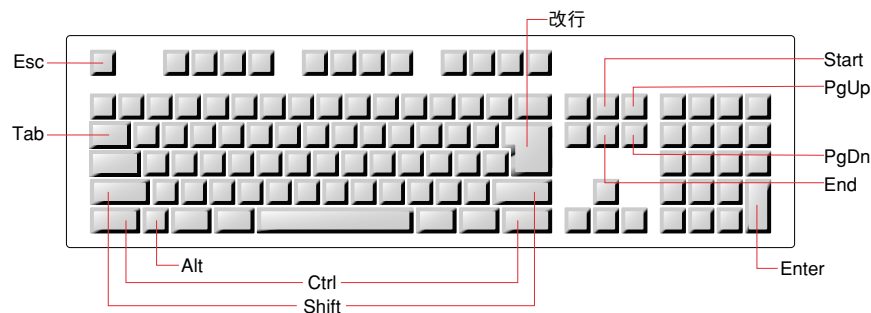
本ドキュメントでは、次の順に各ショートカットを記載します。

- データベースオープン時のショートカット
- 「デザイン」モードのショートカット
- 「デバッグ」のショートカット
- 「ユーザ/ランタイム」モードのショートカット
- 関連する4Dソフトウェアのショートカット

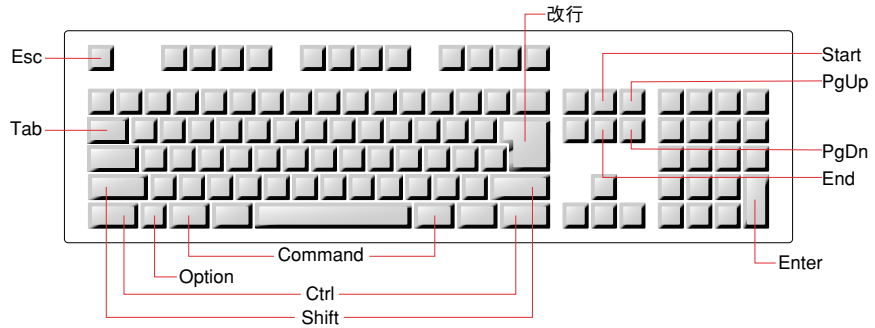
キーボードキー

次の図は、PCならびにMacintoshの拡張キーボード上の主なコマンドキーの名前と場所を示します。

PC



Macintosh



データベースオープン時のショートカット

	Windows	MacOS
別のデータファイルを選択する／データファイルを分割する	Altキーを押しながらデータベースを開く	Optionキーを押しながらデータベースを開く
ストラクチャファイルをチェックする	Ctrlキーを押しながらデータベースを開く	Commandキーを押しながらデータベースを開く
「パスワード」ダイアログボックスを表示する（デフォルトユーザが定義済の場合）	Shiftキーを押しながらデータベースを開く	
4D Openにおけるデータベース参照を削除する／「データベース」ダイアログボックスを作成する	参照を選択してDeleteキーまたはBackspaceキーを押す	

4D & 4D Server キーボードショートカット

「デザイン」モードのショートカット

全般	Windows	MacOS
「デザイン」モードで開かれたウィンドウをすべて閉じる（ストラクチャウィンドウ以外）	ウィンドウのクローズボックスをAlt+クリック	ウィンドウのクローズボックスをOption+クリック
「ユーザ」または「カスタム」モードへの移行時に「デザイン」モードで開かれたウィンドウをすべて閉じる	Shiftキーを押しながらモードを切り替える	
「カスタム」モードを終了する	Alt+F4、またはウィンドウのクローズボックスをクリック	Option+F
「ランタイムエクスプローラ」ウィンドウをフローティングパレットとして表示する	Ctrl+Shift+F9	Command+Shift+F9 (Mac OS X)
プロセスポップアップメニューを表示する（データベースの実行を中断できる）	Alt+Shift+右クリック	Control+Option+Command+クリック
標準的な4Dエディタのオブジェクト名を変更する（フォーム、グループ、スタイルシート、表示および入力フィルタ、リスト、ヒント、プロジェクトメソッド、カスタムメニュー、カスタムメニューコマンド）	オブジェクト名でCtrl+クリック	オブジェクト名でCommand+クリック
コンテキストメニューを表示する	オブジェクト/エリアで右クリック	オブジェクト/エリアでControl+クリック
「エクスプローラ」ウィンドウを表示する/隠す	Ctrl+スペースバー	Command+Control+スペースバー
「エクスプローラ」ウィンドウの「メソッド」ページを表示する	Ctrl+P	Command+P
「エクスプローラ」ウィンドウの「フォーム」ページを表示する	Ctrl+L	Command+L

ストラクチャウィンドウ	Windows	MacOS
トリガを作成する/開く	テーブル名でAlt+ダブルクリック	テーブル名でOption+ダブルクリック
新規テーブルを作成する	Ctrl+N	Command+N
新規プロジェクトメソッドを作成する	Ctrl+M	Command+M
各テーブルを選択する	Tab	
「エクスプローラ」ウィンドウの「フォーム」ページを表示する	Ctrl+L	Command+L
新しく「フォームウィザード」を表示する	Ctrl+E	Command+E

エクスプローラ	Windows	MacOS
フォーム名を変更する	フォーム名で Ctrl+クリック	フォーム名で Command+クリック
プロジェクトメソッド名を変更する	プロジェクトメソッド名でCtrl+クリック	プロジェクトメソッド名でCommand+クリック
リスト項目内を移動する	マウスホイールを使用、または↑↓キー	↑↓キー
項目を展開／縮小	→キー	←キー

メソッドエディタ	Windows	MacOS
構文とともに4Dコマンドを挿入する	「エクスプローラ」ウインドウからドラッグ&ドロップ	
構文抜きで「エクスプローラ」ウインドウから4Dコマンドを挿入する	Alt+ドラッグ&ドロップ	Option+ドラッグ&ドロップ
選択したコマンドの構文を表示する	コマンド名の後にスペースを挿入	
選択したコマンドのオンラインヘルプを表示する	F1 (コマンド名の選択後)	
コマンドや定数名を入力するショートカット	[頭一桁]+Tab、または[頭一桁]+@+Enter	
ヌル時間を挿入する	?+Enter	
ヌル日付を挿入する	!+Enter	
ブレークポイントプロパティダイアログボックスを表示する	ブレークポイント上でAlt+クリック	ブレークポイント上でOption+クリック
現在名前が選択されているメソッドを開く	Ctrl+P	Command+P
現在名前が選択されているフォームを開く	Ctrl+L	Command+L
現在選択中の行を解析する (行の追加なし)	Enter	
メソッド全体を解析する	Ctrl+Enter	Command+Enter
選択範囲を作成して一文字ずつ右方向へ拡張、または選択範囲を一文字ずつ左方向へ縮小	Shift+→	
選択範囲を一文字ずつ右側から縮小、または選択範囲を作成して一文字ずつ左方向へ拡張	Shift+←	
選択範囲を作成して一行ずつ上から下へ拡張	Shift+↓	
選択範囲を作成して一行ずつ下から上へ拡張	Shift+↑	
選択範囲を作成して単語単位で右方向へ拡張	Ctrl+Shift+ →	Command+Shift+ →
選択範囲を単語単位で右側から縮小、または選択範囲を作成して単語単位で左方向へ拡張	Ctrl+Shift+ ←	Command+Shift+ ←
ドラッグ&ドロップ操作中に選択テキストをコピーする	Ctrl+ドラッグ&ドロップ	Option+ドラッグ&ドロップ

4D & 4D Server キーボードショートカット

選択範囲を特定のクリップボード (1~9) へコピーする	Ctrl+Shift+1~9	Control+Shift+1~9
特定のクリップボード (1~9) の内容をペーストする	Ctrl+1~9	Control+1~9
挿入ポイントを単語単位で左から右へ移動	Ctrl+ →	Command+ →
挿入ポイントを単語単位で右から左へ移動	Ctrl+ ←	Command+ ←
挿入ポイントを行の先頭に配置	Home	
挿入ポイントを行の終わりに配置	End	
挿入ポイントをメソッドの先頭に配置	Ctrl+Home	Command+Home
挿入ポイントをメソッドの終わりに配置	Ctrl+End	Command+End
該当行内でカーソルの左側にある文字をすべて選択する	Shift+Home	
該当行内でカーソルの右側にある文字をすべて選択する	Shift+End	
テキストの最終論理ブロックの選択を解除する (「論理ブロックを選択」コマンドを使用して選択済)	Ctrl+Shift+B	Command+Shift+B
メソッド内容をスクロールする (挿入ポイントは移動しない)	マウスホイールを使用	利用不可
メソッド内容をページ単位で下から上へスクロールする (挿入ポイントは移動しない)	PgUp	
メソッド内容をページ単位で上から下へスクロールする (挿入ポイントは移動しない)	PgDn	

フォームエディタ	Windows	MacOS
ツールパレットを表示する/隠す	Ctrl+T	Command+T
プロパティリストまたはオブジェクトプロパティパレットを表示する/隠す	Ctrl+Shift+スペースバー	Command+Shift+スペースバー
オブジェクトメソッドを開く/作成する	任意のオブジェクト上でAlt+クリック	任意のオブジェクト上でOption+クリック
現在のフォームのページ 0 を表示する	ページ 0 に属する任意のオブジェクト上でAlt+クリック	ページ 0 に属する任意のオブジェクト上でOption+クリック
複数オブジェクトを選択/選択解除する	各オブジェクト上でShift+クリック	
同じタイプのオブジェクトをすべて選択する	オブジェクト上でCtrl+クリック	オブジェクト上でCommand+クリック
マーキーを描画し、完全に囲まれたオブジェクトだけを選択する	Altキーを押しながらマーキーを描画	Optionキーを押しながらマーキーを描画
選択オブジェクトをグループ化する	Ctrl+G	Command+G
オブジェクトのグループ化を解除する	Ctrl+H	Command+H
選択項目を複製する	Ctrl+D	Command+D

選択項目をバックグラウンドに移動する	Ctrl+B	Command+B
カレントテーブルのフィールドをテキストエリアに挿入する	エリア内でAlt+クリック (テキストツール)	エリア内でOption+クリック (テキストツール)
任意のテーブルのフィールドをテキストエリアに挿入する	エリア内でAlt+Shift+クリック (テキストツール)	エリア内でOption+Shift+クリック (テキストツール)
1ピクセルずつオブジェクトサイズを変更する	Ctrl+ ↑ ↓ → ←	Command+ ↑ ↓ → ←
ユーザが「グリッド定義」ダイアログボックスに指定した増分値ずつオブジェクトサイズを変更する	Ctrl+Shift+ ↑ ↓ → ←	Command+Shift+ ↑ ↓ → ←
制約付きでサイズ変更する (*)	Shift+クリックして、ハンドルをドラッグ	
制約付きで描画する (*)	Shift+描画	
ピクチャを100% にリセットする	ピクチャの右下隅をCtrl+クリック	ピクチャの右下隅をCommand+クリック
ピクチャライブラリ (連続したフレームにピクチャが定義されている) からドラッグ&ドロップして、ピクチャボタンを作成する	ライブラリからドラッグ&ドロップ	
ピクチャライブラリ (連続したフレームにピクチャが定義されている) からドラッグ&ドロップして、ピクチャポップアップメニューを作成する	Shiftキーを押しながらライブラリからドラッグ&ドロップ	
ピクチャライブラリ (連続したフレームにピクチャが定義されている) からドラッグ&ドロップして、ライブラリピクチャを作成する	Altキーを押しながらライブラリからドラッグ&ドロップ	Optionキーを押しながらライブラリからドラッグ&ドロップ
「エクスプローラ」ウインドウからフォームへ“リスト”サブフォームを追加する	サブフォームをドラッグ&ドロップ	
「エクスプローラ」ウインドウからフォームへ“詳細”サブフォームを追加する	Shiftキーを押しながらサブフォームをドラッグ&ドロップ	
「エクスプローラ」ウインドウや「リスト」エディタを用いて階層リストを作成する	リストをドラッグ&ドロップ	
「エクスプローラ」ウインドウや「リスト」エディタを用いて階層メニューを作成する	Shiftキーを押しながらリストをドラッグ&ドロップ	
マトリクス上で上から下へ変数に番号を付ける	Shiftキーを押しながら「行列を指定して複製...」メニューコマンドを選択	
ヘッダマーカーを追加する	ヘッダマーカー上でAlt+クリック	ヘッダマーカー上でOption+クリック
ブレイクマーカーを追加する	ブレイクマーカー上でAlt+クリック	ブレイクマーカー上でOption+クリック
ユーザが追加したヘッダマーカーやブレイクマーカーを削除する	削除するマーカー上でCtrl+クリック	削除するマーカー上でCommand+クリック
現在移動しているマーカーの下位にあるマーカーをすべて同時に移動する	Shiftキーを押しながらマーカーを移動	

4D & 4D Server キーボードショートカット

プロパティリスト	Windows	MacOS
すべてのテーマを展開／縮小する	テーマ上でCtrl+クリック	テーマ上でCommand+クリック
すべてのイベントを選択／選択解除する	イベント上でCtrl+クリック	イベント上でCommand+クリック
セル間を移動する	↑ ↓ → ← キー	
表示リストの最初または最後の表示セルを選択する	PgUp / PgDn	
リストの最初または最後のセルを選択する	Home / End	

メニューバーエディタ	Windows	MacOS
メニューコマンドに関連付けられたメニューを開く	Ctrl+P	Command+P

リストエディタ	Windows	MacOS
アルファベット降順 (Z→A) にリストを並び替える	Shiftキーを押しながら「並び替え」コマンドまたはボタン	

ピクチャライブラリ	Windows	MacOS
カーソルが置かれている場所のカラーを選択する (ペンツール)	Altキーを押しながらエリアをクリックする	Optionキーを押しながらエリアをクリックする
制約付きでオブジェクトを描画する (*)	Shiftキーを押しながら描画	
その中央部分から矩形を描画する	Ctrlキーを押しながら描画	Commandキーを押しながら描画
その中央部分から楕円形を描画する	Ctrlキーを押しながら描画	Commandキーを押しながら描画

Webサービスウィザード	Windows	MacOS
WSDLファイルのXMLソースコードを表示する	Shiftキーを押しながら「検索」ボタンをクリック	

「デバッガ」ショートカット

	Windows	MacOS
RECEIVE PACKET、RECEIVE BUFFER、RECEIVE VARIABLE、または RECEIVE RECORDで開始された通信を中断する	Ctrl+Alt+Shift	Command+Option+Shift
「イベントマネージャ」プロセス (ON EVENT CALLでインストール) を通常プロセスに変換する	Ctrl+Shift+Backspace	Command+Option+Shift+Control+Backspace
実行時にデバッガウインドウを表示する (トレースするプロセスを選択)	Alt+Shift+右クリック	Control+Option+Command+クリック
選択した式やオブジェクトを「カスタム表現式/値」エリアへコピーする	ドラッグ&ドロップまたはオブジェクト上でCtrl+DまたはCtrl+クリック	ドラッグ&ドロップまたはオブジェクト上でCommand+DまたはCommand+クリック
「デフォルト表現式/値」エリアの項目を「カスタム表現式/値」エリアへコピーする	「デフォルト表現式/値」エリアの項目上でダブルクリック	
新しい式を作成する	「カスタム表現式/値」エリアでダブルクリック	
実行を再開する	F5または Ctrl+R	F5または Command+R
実行を再開し、カレントプロセスの保留中のTRACEコールをすべて無効にする	Shift+F5または Shiftキーを押しながら「トレースなし」ボタンをクリック	
実行をアボートする	F6または Ctrl+K	F6または Command+K
実行中のメソッドを編集する	F2または Ctrl+E	F2または Command+E
設定を保存する	F3	
Step Over (同一メソッドのみ)	F4または Ctrl+S	F4または Command+S
Step Into (呼び出しメソッドもトレース)	F8または Ctrl+T	F8または Command+T
Step Out (呼び出し元へ戻る)	F7または Ctrl+U	F7または Command+U
一時的ブレークポイントの設定	左マージンでAlt+Shift+クリック	左マージンでOption+Shift+クリック
「ブレークポイントプロパティ」ウインドウを表示	ブレークポイント上でAlt+クリック	ブレークポイント上でOption+クリック
「メソッド連鎖」エリアにおける呼び出しに対応する行でメソッド名を「ソースコード」エリアに表示する	「メソッド連鎖」エリアのメソッド名をダブルクリック	
「デフォルト表現式/値」エリアを強制的に更新する	Ctrl+*	Command+*
エリア間を移動する	Tab	
エリアの項目を移動する	↑↓キー	

4D & 4D Server キーボードショートカット

「ユーザ/ランタイム」モードのショートカット

全般	Windows	MacOS
「ランタイムエクスプローラ」をフローティングパレットとして表示する	Ctrl+Shift+F9	Command+Shift+F9
「テーブルリスト」ウインドウを表示する	Ctrl+スペースバー (***)	Command+Shift+スペースバー
「カスタム」モードを終了する	Alt+F4またはクローズボックスをクリック	Option+F

フォーム内での入力/編集	Windows	MacOS
サブレコードを作成する (**)	Ctrl+／	Command+／
レコードを確定する、または「フォームによるクエリ」／「クエリ&修正」を開始する (**)	Enter	
入力、または「フォームによるクエリ」／「クエリ&修正 (**)」をキャンセルする	Ctrl+.	Command+.
「リスト更新」モードにおいてレコードを作成する	Enter	
連続するレコードを複数選択する (出力フォーム)	最初のレコードをクリック後、Shiftキーを押しながら最後のレコードをクリック	
隣接していないレコードを複数選択する (出力フォーム)	選択する各レコード上でCtrl+クリック	選択する各レコード上でCommand+クリック
フォーム入力順の次のエリアに進む	Tab	
フォーム入力順の前のエリアに戻る	Shift+Tab	
一連のピクチャボタンで前のピクチャを表示する	ピクチャボタン上でShift+クリック	
ピクチャのQuicktime設定をカスタマイズする	Altキーを押しながらピクチャをフィールドにペースト	Optionキーを押しながらピクチャをフィールドにペースト

リスト (データ入力)	Windows	MacOS
リスト項目を修正する (リストとリスト項目はともに“編集可”に設定しておかねばならない)	Ctrlキーを押しながら「リスト」ダイアログボックスの項目をクリック	Commandキーを押しながら「リスト」ダイアログボックスの項目をクリック
選択リストウインドウ内を移動する	[求める項目の最初の文字を入力]	
フィールドを変更せずに選択リストウインドウを閉じる	Esc	

ラベルエディタ	Windows	MacOS
マーカーを描画し、完全に囲まれたオブジェクトだけを選択する	Altキーを押しながらマーカーを描画	Optionキーを押しながらマーカーを描画
各オブジェクトの上部を垂直方向へ均等に配置する	Shiftキーを押しながらボタンをクリック	「垂直均等配置」ボタンをクリック
各オブジェクトの下部を垂直方向へ均等に配置する	Altキーを押しながら「垂直均等配置」ボタンをクリック	Optionキーを押しながら「垂直均等配置」ボタンをクリック
各オブジェクトの中央部を垂直方向へ均等に配置する	Shift+Alt+「垂直均等配置」ボタンをクリック	Shift+Option+「垂直均等配置」ボタンをクリック
各オブジェクトの左側を水平方向へ均等に配置する	Shiftキーを押しながらボタンをクリック	「水平均等配置」ボタンをクリック
各オブジェクトの右側を水平方向へ均等に配置する	Altキーを押しながら「水平均等配置」ボタンをクリック	Optionキーを押しながら「水平均等配置」ボタンをクリック
各オブジェクトの中央部を水平方向へ均等に配置する	Shift+Alt+「水平均等配置」ボタンをクリック	Shift+Option+「水平均等配置」ボタンをクリック
オブジェクトサイズを1ピクセルずつ変更する	Alt+ ↑ ↓ → ←	Option+ ↑ ↓ → ←
オブジェクトサイズを10ピクセルずつ変更する	Alt+Ctrl+ ↑ ↓ → ←	Option+Command+ ↑ ↓ → ←
改行文字をセパレータとして用いて2つのフィールドを連結する	Shiftキーを押しながらドラッグ&ドロップ	フィールドをドラッグ
連結したフィールドのグループをデフォルトサイズに変更する	Ctrlキーを押しながらグループ右下のハンドル上をクリック	Commandキーを押しながらグループ右下のハンドル上をクリック
オブジェクトに境界線を追加する	Ctrl+1～9	Command+1～9
制約付きでオブジェクトを描画する (*)	Shiftキーを押しながら描画	
複数オブジェクトを選択する	Shiftキーを押しながら選択する各オブジェクトをクリック	
オブジェクトを1ピクセルずつ移動する	↑ ↓ → ← keys	
オブジェクトを10ピクセルずつ移動する	Ctrl+ ↑ ↓ → ←	Command+ ↑ ↓ → ←
オブジェクトを1つ前、または後ろのレイヤへ移動する	Shiftキーを押しながら「前面へ」または「背面へ」ボタンをクリック	
オブジェクト境界線にカラーを追加する	Shiftキーを押しながらカラーを選択	

4D & 4D Server キーボードショートカット

グラフ (4D Chart)	Windows	MacOS
カレントフォームテーブルのフィールドを挿入する (テキストツール)	Altキーを押しながらグラフエリア (組み込みエリア) をクリック	Optionキーを押しながらグラフエリア (組み込みエリア) をクリック
任意のテーブルのフィールドを挿入する (テキストツール)	Shift+Alt+グラフエリアをクリック	Shift+Option+グラフエリアをクリック
多角形を閉じる	Alt+Ctrl+Enter	Option+Enter
オブジェクトの枠を表示しながらオブジェクトサイズを変更する	Altキーを押しながらサイズ変更	Optionキーを押しながらサイズ変更
同じ比率を維持したままオブジェクトサイズを変更する	Shiftキーを押しながらサイズ変更	
4D Chartのメニューバーを表示する	Ctrl+Shift+M	Command+Shift+M
戻り線に関連付けられた点を選択する (2D XYグラフ)	Ctrl+クリック	Command+クリック
グラフ項目を選択する	Ctrl+クリック	Command+クリック
円グラフからパイウェッジを切り離す	Ctrlキーを押しながらパイウェッジをドラッグ	Commandキーを押しながらパイウェッジをドラッグ
クリップボードのピクチャを2Dピクチャグラフへペーストする	Ctrlキーを押しながらカラム上をクリックし、ピクチャをペースト	Commandキーを押しながらカラム上をクリックし、ピクチャをペースト
チャートの凡例を移動する	Ctrlキーを押しながら凡例をドラッグ	Commandキーを押しながら凡例をドラッグ
オプションとしてヒントをグラフ内に表示する (“要求時” オプションを使用)	Ctrlキーを押しながらオブジェクト上にマウスを配置	Commandキーを押しながらオブジェクト上にマウスを配置
制約付きでオブジェクトを描画する (*)	Shiftキーを押しながら描画	

書き出しエディタ	Windows	MacOS
書き出しカラムに利用可能なフォーマットを表示する	カラムヘッダで右クリック	カラムヘッダでControl+クリック

(*) 制約を用いる場合、垂直方向、水平方向、または45°の斜線、矩形、楕円のみ描画することができます。制約を用いて既存のオブジェクトのサイズを変更する場合、そのオブジェクトの元の比率が維持されます。

(**) 4D Customizer Plusを使用して、これらデフォルトのショートカットを変更することができます。

(***) お使いのPCに複数のシステムがインストールされており、Ctrl+スペースバーを用いてシステム間の切り替えを行っている場合には、Ctrl+Shift+スペースバーを使用して「テーブルリスト」ウィンドウを表示してください。

関連する 4D ソフトウェアのショートカット

4D Tools	Windows	MacOS
ストラクチャファイルを直接チェックする	Ctrlキーを押しながらストラクチャファイルを開く	Commandキーを押しながらストラクチャファイルを開く

4D Transporter	Windows	MacOS
任意のファイルタイプ（4Dで作成されていない）を開く、またはドラッグ&ドロップする	利用不可	Commandキーを押しながら開く、またはファイルをドラッグ&ドロップ
4D Transporterの起動時に「環境設定」ダイアログボックスを表示する	利用不可	Optionキーを押しながら4D Transporterを起動

4D Customizer Plus	Windows	MacOS
ユーザ作成のパラメータグループを削除する	Altキーを押しながらアイコンをダブルクリック	Optionキーを押しながらアイコンをダブルクリック